



*Lion* 最上川



No.2  
2022 ~ 2023



濟州島OSEALフォーラム

2022.11.24 ~ 27まで韓国済州島にて第59回オセアルフォーラムが開催されました。当地区より吾妻ガバナーはじめ第1・第2副地区ガバナー他、総勢13名の参加でした。

写真は332複合地区の方々で式典会場(ICCJEJU)にて撮影しました。コロナ禍ではありましたがいろいろな方々と交流できました。

キャビネット幹事 L. 松山宏一

#### CONTENTS

ガバナーあいさつ	P 2
ZCガバナー公式訪問報告	P 3
第2回キャビネット会議	P 7
委員会活動報告	P 8
周年記念式典	P 10
最上川クリーンアップ・チャリティーゴルフ	P 11
飯豊町水害LCIF交付金	P 12
アクティビティ報告	P 13
マンスリーレポート	P 14
ポスターコンテスト	P 15



## ごあいさつ

# ガバナー公式訪問を終えて

332-E 地区ガバナー

L. 吾妻正章

今年度のガバナー公式訪問は8月30日の第3R第1Z第2Z合同（天童市）からスタートし、9月6日第1R第1Z第2Z合同（山形市）、9月9日第2R第2Z（白鷹町）、9月13日第2R第1Z（米沢市）、9月27日第5R第1Z第2Z合同（酒田市）、10月4日第4R第1Z（東根市）、最後に10月11日第4R第2Z（新庄市）で開催いたしました。開催にあたりご協力をいただきました、ゾーンチアパーソン、各クラブの三役の皆様、キャビネット構成員の皆様、加えてキャビネット事務局のお二人には、改めてスムーズな運営にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

三役協議会では、ガバナーテーマ、アクティビティ・スローガン、重点目標について説明させていただき、十分に理解していただけたことを嬉しく思います。

三役協議会の主要議題は、

- ① クラブ会長テーマ、アクティビティスローガンの説明、及び主要事業について
- ② グローバルメンバーシップアプローチ（GMA）による会員増強
- ③ LCIFへの取り組み

議題の中でそれぞれのクラブの自慢のできる奉仕事業を聞かせていただきました。それぞれのクラブが大変素晴らしいテーマを持って活動を展開しておられることに感銘を受けました。また今年度から始まったGMAによる会員増強のシステムを説明させていただき各クラブ純増1名の目標達成に向けてお願ひいたしました。LCIFについても、世界がライオンズクラブの奉仕活動を待っていることを念頭に置いていただき目標達成に向けて取り組んでいただけることを期待しています。

今後も新型コロナ感染症の影響下でのライオンズ活動になると思われますが、奉仕を必要としている人がいる限り奉仕活動を行って行かなければなりません。皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

# 吾妻ガバナー公式訪問 ZC 報告

3R合同	8月 30日(火)	天童市 天童ホテル
1R合同	9月 6日(火)	山形市 パレスグランデール
2R 2Z	9月 9日(金)	白鷹町 パレス松風
2R 1Z	9月 13日(火)	酒田市 ル・ポットフー
5R合同	9月 27日(火)	米沢市 グランドホクヨウ
4R 1Z	10月 4日(火)	東根市 花の湯ホテル
4R 2Z	10月 11日(火)	新庄市 ニューグランドホテル新庄



## 第1R・第1Z

1R1Z・ZC  
L. 三澤英昭 (山形LC)



## 第1R・第2Z

1R2Z・ZC  
L. 岩田幸洋 (山形千歳LC)

令和4年9月6日(火) パレスグランデールに於いて、第1R 10クラブ合同例会として総勢200有余名の参加のもと2022～2023年度 L. 吾妻正章地区ガバナー公式訪問例会を開催。

L. 吾妻地区ガバナーをはじめキャビネット役員をお迎えするに当たり歓迎の宴席を設けて開催すべきところコロナ禍が未だ収束していない状況のなかで止む無く割愛、またコロナ禍での会合・集合回数の観点から同日14時より第1R第1回ガバナー諮問委員会、16時より第1R三役協議会、そして18時より第1R 10クラブ合同での地区ガバナー公式訪問例会の開催とし、宴席を設けずテイクアウト方式に変更しての開催となった。

例会は、開会ゴング、そして山形LC会長 L. 大槻信也による開会宣言により開始され、上山LC会長 L. 五十嵐裕治より地区ガバナー歓迎の言葉が述べられた後、L. 吾妻正章地区ガバナーよりご挨拶を頂戴し、ガバナー・テーマ「L字を胸に We Serve」について、「ライオンズクラブは世界一の奉仕団体、我々会員皆が誇りを胸に自信を持って奉仕活動を展開していくましょう」と、アクティビティスローガン「奉仕の輪を広げ、大きな奉仕を」については、「一本の灯りから幾千万の光明となるように地域を巻き込み奉仕の輪を広げ大きな奉仕活動を行って

いきましょう」との説明をいただき、更には2022～2023年度 332-E地区 地区運営方針については、「変動する社会の中で今求められているニーズを察知し発想の転換を加え、効率よく支援が必要な人々に奉仕に手を差し伸べていきましょう」とご挨拶に加えガバナー方針を具体的にご説明いただいた。

その後各賞の伝達、記念品の贈呈、新入会員入会式等が執り行われ、上山あららぎLC L. 鏡 智一の閉会宣言によりガバナー公式訪問例会がお開きとなりました。





## 第2R・第1Z

2R1Z・ZC

L. 廣居 誠（米沢中央LC）

第2リジョン第1ゾーンのガバナー公式訪問を、米沢市4クラブ出席のもと令和4年9月13日に米沢市、グランドホクヨウにて吾妻ガバナーをお迎えし、コロナ禍ではありますが対面にて三役協議会、公式訪問例会を開催させていただきました。丁度、8月上旬に線状降帶による水害が置賜地方を襲ったことも相重なり、協議会においてはそのような地球規模での温暖化対策について話されました。

奉仕や支援を行う上、当然必要になるマンパワー。そのパワーを使う行動を躊躇わせるような大きな災害が頻発している世の中で、我々クラブ員がどういった立ち位置で今後向き合うのかということが課題になってきたように思います。物資をただ送るだけや、現場の状況を把握せず我々の主觀だけでの活動は、時には奉仕や支

援の観点から相反するものになる行動もあると思います。言い換れば災害に向き合った中での活動が一気に多様化してきたような雰囲気さえ感じます。求められるものへの最善の支援、あるいは行動を見直し、思案しながら今後は各クラブとして、あるいは一クラブ員として行動しないといけないのかなとも思います。大きなものに対峙したその先にはまた大きな施策や考えがあるはずです。

既成概念に捉われないアクティビティを今後は模索しうるのもクラブ活動の大きなヒントになるのではと思ったところでした。懇親会が残念ながら行われませんでしたが、こんな想いを次の機会にガバナーはじめ多くのライオンと話できることを期待してます。



## 第2R・第2Z

2R2Z・ZC

L. 後藤敬一郎（白鷹LC）

8月3日からの千年に一度といわれる豪雨に見舞われた当置賜地区、特に飯豊町、川西町の被害は甚大なものでした。豪雨翌朝ガバナーL. 吾妻よりいち早く状況の伺いとお見舞いのお電話をいただきました。当方もテレビの報道と自分の周辺程度の状況ぐらいしか把握できずにいた時でした。その後2Z内他町の会員の方数人と連絡が取れて被害の状況が分かってきました。またキャビネットからは、幹事のL. 松山、アラート委員長のL. 大内が救援物資を積んで来町され、その後飯豊町、川西町に向かわれると聞き大変な状況の中、心強く感謝の気持ちでいっぱいでした。そして1ヶ月が過ぎ被害の全容が明らかになってきて会員の中にも被災された方もある中、相変わらずコロナ感染症は終息が見えない一進一退状況

「ガバナー公式訪問」は正規な形で実施すべく検討しましたが、三役協議会のみの開催になってしましました。ガバナーL. 吾妻を囲んでの懇親会についても直前まで議論しましたが、ライオンズからクラスターを発生してはならないとの思いで中止の決心いたしました。

当日は、地区ガバナーL. 吾妻はじめ、第一副地区ガバナーL. 西村、第二副地区ガバナーL. 安孫子、元地区ガバナーL. 小関他キャビネット役員の方々をお迎えして開催し、協議の最後に各クラブ新入会員にガバナーよりバッチの贈呈があり代表して白鷹ライオンズクラブのL. 竹田が出席し直接バッチを付けていただき協議終了。

その後皆様よりご挨拶を頂き閉会となりました。今回は返す返す多くの会員の中で開催できなかつた事が残念でありました。





## 第3R・第1Z

3R1Z・ZC

L. 布施 健（寒河江臥龍LC）

吾妻ガバナーから提案された「地区年間スケジュール表」を見ると、公式訪問のトップバッターとして「8月30日3R合同公式訪問」とあるではないか！従前は3R合同で開催していたが、最近は1Z・2Z別々に開催してきた。しかし、吾妻ガバナーの提案を無視するわけにはいかず、提案を実現するためには、まず会場は大きなホテルがある天童が利便と考えた。

そこで、早速7月15日天童で昼食しながら布施ZC・阿部寒河江臥龍LC幹事、鈴木ZC・須藤天童LC幹事の4人が打合せを行った。

懇親会は、顔を合わせて懇談し、相互に情報交換と交流を深める重要な機会と考え、当初は開催することで計画していた。ところが山形県のコロナ感染は8月初旬の花笠祭のあとグンと増加に転じ、お盆の帰省による増加も予想され、残念ながら中止することに決めざるをえなかつた。

3R9クラブの参加人数を把握し、式次



## 第3R・第2Z

3R2Z・ZC

L. 鈴木晴夫（天童LC）

第、時間割、席割を決め、パンフレット印刷に取りかかった。当日は、詳細なタイムスケジュール表・役割分担表を作成し、天童LCメンバーに会場準備をお願いした。

- ・三役協議会 受付 15：30～16：00  
会議 16：00～17：30
- ・合同例会 受付 17：30～18：00  
例会 18：00～

多くの人に集まつてもらい会議を開催するには準備担当の裏方の苦労がよくわかつた貴重な経験だった。



## 第4R・第1Z

4R1Z・ZC

L. 本木一男（東根さくらんぼLC）

第4R第1Zガバナー公式訪問は、10月4日にさくらんぼ東根温泉 花の湯にて吾妻正章 ガナー・西村公夫 第一副地区ガバナー・安孫子英彦第二副地区ガバナー・永沢敏秋 元地区ガバナー名誉顧問・キャビネット役員の方々をお迎えし、5クラブ82名での盛大な公式訪問開催になりました。

当初は2ゾーンとの合同開催予定で、第2Z白谷ゾーン・チアアーバーソンと数回の打ち合わせと会場ホテルとの交渉を重ねたのですが、コロナ禍で人数制限があり断念せざる得ない状況で本当に残念でした。4R1Zは、吾妻ガバナーの所属するお膝元ゾーンでもあり最大限のおもてなしと思った矢先、会場ホテルのスタッフが少なく（コロナ禍の影響で）それでも成功させたいと前夜から東根さくらんぼLC会員全員で会場設営していただきました。

当日は三役協議会が開催され、吾妻

ガバナー挨拶から始まり、キャビネット松山幹事、富樫会計連絡事項へと進み、協議事項では各クラブの会長方針、運営、アクティビティ等を報告、吾妻ガバナーよりGMA説明を受け、松山幹事からの確認事項へと進み予定時間では足りないくらい活発な意見交換となりました。

公式訪問は開会ゴングで始まり、東根さくらんぼLC長里会長より地区ガバナー歓迎の言葉でお迎えし、吾妻ガバナー・西村第一副地区ガバナー・安孫子副地区ガバナーの挨拶とスムーズに進み開会ゴング。いよいよ参加者全員のお楽しみ 懇親会19：00スタート、楽しくなければライオズじゃないの掛け声で、東根さくらんぼLC大河原初代会長のウィサープで開幕し瞬く間に時が過ぎる親睦の場を設ける事が出来ました。





## 第4R・第2Z

4R2Z・ZC (新庄ニュー  
L. 白谷幸一 センチュリーLC)

2022年10月11日にニューグランドホテル新庄にて第4リジョン第2ゾーンのガバナー公式訪問が開催されました。新庄ニューセンチュリーライオンズクラブの鈴木会長から素晴らしい歓迎の言葉があり、吾妻ガバナーからは有難い挨拶や、前年度の年次大会では間に合わなかった新庄ライオンズクラブ、新庄もみの木ライオンズクラブの100推進賞の伝達、新入会員4人のバッジを授与していました。大変感謝しております。新入会員には今後の活躍を期待したいところです。前段の三役協議会におきましても、各クラブ会長より熱い想いが発表され、素晴らしい奉仕活動が行われると思っております。マイライオンやGMA等につきましては、当ゾーンでも課題となっております。今後各クラブに



## 第5R・第1Z

5R1Z・ZC  
L. 小鷹道則 (酒田LC)

今年度は、5R1Z、2Z合同でのガバナー公式訪問を9月27日(火)に酒田市「ル・ポットフー」にて開催されました。5R合同での開催は初めてということで、どういう風に進めればいいのか分からずキャビネット事務局よりR合同で開催されている次第をお借りして参考にし、ゾーン・チェアペソソ同士、何度も打ち合わせました。コロナ禍や2Zが会場より遠くなる為多くのメンバーが参加してくれるか心配でしたが、2Zの三浦ZCの呼びかけで、総勢131名で吾妻ガバナーをお迎えすることができました。

三役協議会では、各クラブの活動や取り組みをお聞きし、吾妻ガバナーからはGMAについての説明がありました。その後の公式訪問、5R1ZLC合同例会では吾妻ガバナーの方針をお聞きし、新入会員入会式では直接ガバナーよりバッ

取り組みを促し、少しずつにはなるかと思いますが会員増強等に繋げていければと考えております。今年はリジョンでの合同開催を目指して1ゾーンの本木ZCと打合せを行ってきましたが、2ゾーンだけでの開催となり懇親会も行われず、参加者もゾーン内会員が47名となったのは残念であります。次年度は新型コロナウイルス感染症対策の改定により、今年度以上の参加になる事を期待しています。

この度は、吾妻ガバナーはもとより随行していただいた第一第二副地区ガバナー、キャビネット幹事・会計の皆様におかれましては、ご多用の所お越しいただきありがとうございました。



## 第5R・第2Z

5R2Z・ZC  
L. 三浦正明 (鶴岡鶴陵LC)

チをつけていただきました。せつかくこのような機会ができたのできちんとコロナ禍対策をして5R合同での懇親会を行いました。テーブルも工夫して1Z、2Zとの交流も深められたと思います。2月11日には、「LCIF献金と5Rの懇親・交流を深める」を目的とした5R合同チャリティボウリング大会の開催を予定しております。吾妻ガバナーのアクティビティスローガン「奉仕の輪を広げ・大きな奉仕を」を5R1Zクラブでこれからも実践していきたいと思います。



# 第2回 キャビネット会議

## 第3回 ゾーン・チェアパーソン会議

●2022年  
12月2日(金)  
●天童ホテル 於



L字を胸に We Serve !!  
吾妻ガバナーのもと  
各キャビネット役員の活動  
的な報告・意見が交わさ  
れました。



去る2022年12月2日に天童ホテルにて第2回キャビネット会議が開催されました。初めにその席上にて佐野前地区ガバナー・名誉顧問会議長に国際会長感謝状が贈呈されました。おめでとうございます。

さて、会議は開会宣言・ゴングから始まり吾妻ガバナー挨拶、佐野前地区ガバナー・名誉顧問会議長より挨拶をいただき、議案審議に入りました。議案1号～6号まで審議されすべて了承されました。内容については第69回地区年次大会、次期ガバナー・次期第一・第二副地区ガバナーの選出、LCIF地区シェアリング交付金の申請等について協議していただきました。キャビネット役員の皆様よりご承認いただき進めさせていただいております。今は吾妻キャビネットとして年次大会に向けて準備を進めているところです。

今後とも皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

キャビネット幹事 L. 松山宏一

# 委員会活動報告



## GLTリーダーシップセミナー

地区GLTコーディネーター L. 山下里美

10月7日に開催されました地区 GLT 主催リーダーシップセミナーには、多くのクラブより会長ならびに第1副会長の出席を賜り、総勢100名の参加のもと「ライオンズクラブリーダーとして求められるもの」と題し、講師を332複合地区 GLT コーディネーター L. 竹下直義、同じく GLT 副コーディネーター L. 北側英之を迎え、開催されましたこと厚く御礼申し上げます、セミナーを受講していただきました会員の皆様には、クラブリーダーの心構えとして刻まれ、すばらしいチームを築いていただいていることとお察し申し上げます。

さて、本年度もあと半年もありません、現在も対面での会議が難しく、FAX やオンラインによる連絡協議、飲食を伴う例会の制限などで、会員とのコミュニケーションはとれていますか？会員の皆様はクラブの活動に積極的に参加されておりますでしょうか？ライオンズが誕生し105年、奉仕とともに歩んできた会員同士の絆を大切に、ニュー会員の獲得はもとより、先輩ライオンを敬い、若きライオンに手を差し伸べ、けっして一人のライオンも失うことがなく、健全なクラブを維持していただきたく希望いたします。

国際会長が毎年変わります、新しい目標や方針が決まり、時にマッチしたチームが誕生し、私たちはそれを理解し進めていかなければなりませんし、その意味を伝えていくことが重要と思っています。

最後になりますが、今後も様々な企画があるかと思いますが、多くの会員参加をご期待し、ますますのご健勝をご祈念申し上げます。



## GMTセミナー

地区GMTコーディネーター L. 須貝昇

第1部はD地区元ガバナーで332複合地区GMTコーディネーターのL. 菅野文吉からの講演で、冒頭に温泉国である山形県の良さを熱く語っていただいた後ライオンズクラブの歴史から332複合地区において過去5年間で15のクラブが解散、正会員1102名と家族会員が535名の減少となっており、このままでは地区が成り立たなくなるほどの危機感があるという状況の中でどのようにして会員増強を進めていくのかを講演して頂きました。「自分自身がライオンズを好きになれば自信を持って招くことが出来る！」というテーマのもと次世代が憧れるクラブ・会員作りをして持続可能なものにしようと熱弁をされました。又、A地区で成功した支部クラブ・スペシャルティクラブの結成促進をすれば、まとまった数の増加が望まれるとの話もありました。第2部は330A地区元ガバナーで当地区担当のGATエリアリーダーであるL. 今井文彦から国際会費が半額であるというキャンパスクラブ（大学生）の結成についても語られました。様々な方法で増強をしなければならないとの事です。質疑応答では出席者から予想以上の前向きな質問と意見があり大変頬もしく感じました。最後に332複合地区GMT副コーディネーターのL. 佐々木光幸から、この複合地区が全国に誇れる活発な会員増強となる事を願う挨拶を頂きました。

新型コロナ下という事であり参加を制限し60名の出席をいただき、総勢91名でのセミナーとなりました。

最後になりますが、今後も様々な企画があるかと思いますが、多くの会員参加をご期待し、ますますのご健勝をご祈念申し上げます。





## 献血推進研究会

アイヘルス・献血献眼・臓器移植推進委員会委員長 L. 加藤克彦

ライオンズクラブ国際協会 332-E 地区令和4年度献血推進研究会が令和4年10月25日(火)14:00からパレスグランデールで、西村第一副地区ガバナーはじめとして各クラブから50名と山形県赤十字血液センター鎌塚所長他8名、山形県総合支庁献血推進員担当者5名の参加で開催されました。

令和3年度活動優秀クラブ山形千歳ライオンズクラブ、酒田ライオンズクラブに感謝状が贈呈され活動事例が報告されました。

西村第一副地区ガバナーが議長で協議では各クラブから今後の課題やクラブの活動方針や先進事例の報告等があり活発な協議になりました。

スマホアプリラプラットの登録推進が山形県赤十字血液センター血液推進課血液予約推進係金子さんから説明があり332-E地区で推進して必要性を深く感じました。

コロナ禍での開催で参加人数を限定した推進研究会になりましたが、開催に併せて若年層の献血者増加に向けた啓発ポスターを作成しました。

山形周辺の大学高校や関連機関への山形県赤十字血液センターと連携して啓発ポスター掲示の推進と献血1万人運動の大きな目標である若年層献血者増加の達成と推進に今後も取り組んでいきたいと思います。



## 薬物乱用防止教育認定講師養成講座

青少年育成委員会委員長 L. 工藤敏幸

令和4年12月9日(金)大石田町民センター虹のプラザにおいて今年度の薬物乱用防止教育認定講師養成講座が開催された。この季節では、雪のない大石田は考えられない事ですが、私達を暖かく迎えてくれました。332-E地区の関係者が70名近く参加して頂き、午後1時からの開講式に始まり4時過ぎまでの半日コースでした。

普段の日常生活では、話題にならない薬物乱用ですが講座において薬物についての現状、身体や社会に及ぼす影響、私達ライオンズクラブがこれからやっていかなければならないことを改めて学びました。実践講座では東京葛飾ライオンズクラブのL. 館親光が話されました。L. 館は今年の2月1日で87歳、日本全国を飛び回り青少年に薬物乱用教室の必習性を、地元においても数十校の学校に出向いて薬物乱用教室を開催しているのだそうです。まさに薬物に染まっています、元気の素は日本の青少年を薬物乱用から守ろうとする奉仕の心、と実践活動ですと言われて会場を後にし大石田駅までの坂道を歩いて帰られました。

参加された皆さん是非地元の学校で薬物乱用防止教室を開催してみて下さい。卒業された学校なら喜んで受けでもらえると思います。私は50年ぶりに母校に行き生徒の前に立ち大変感動しました。今回頂いた「薬物の話 DVD」を持って人生の経験話を生徒たちへ語ってください。



# 周年記念式典

## 西川ライオンズクラブ 50周年記念式典

会長 L. 荒木尚人



昭和初期から続く歴史のある「西川菊まつり」が開催される中、同会場「西川町交流センターあいべ」にて開催された「西川ライオンズクラブ結成50周年記念式典」は、ご来賓、姉妹クラブ、ブロザークラブの臨席を受け、総勢90名にて感染症対策を万全に実施しながら執り行われました。

吾妻332-E地区ガバナー、スポンサークラブである河北LC. 今田会長、姉妹クラブの柴田LC. 平間会長の心温まるご祝辞を受け、結成50周年記念アクティビティである「西川町交流センターあいべ第2駐車場広場への遊具贈呈」の目録が、L. 菅野50周年大会会長からL. 菅野大志西川町長へと厳かに手渡されました。

今回の記念アクティビティを決定するにあたり、4月から就任された菅野西川町長が進めようとしている「子ども達が伸び伸び遊べる公園建設」事業への協力という趣旨が採用されました。「皆さまの『すっだい』を実現する町に!」という菅野町長の強いリーダーシップにより、西川町は今、町民に活気が生まれています。西川ライオンズクラブは地域の奉仕者として、今後も敏感に地域の声に耳を傾けながら、時代に合った、求められる奉仕を実行していかなければなりません。

今回の「西川ライオンズクラブ結成50周年記念式典」は、参加者各自が半世紀のクラブ活動に想いを巡らしながら、次の半世紀への力強いスタートを誓い合う節目として位置付ける有意義なイベントとなりました。



・老人養護施設「ケアハイツ」の清掃活動を2005年より継続実施している。



・1997年より継続実施している『西川ライオンズ杯グランドゴルフ大会』町民との交流を通じ、奉仕活動の円滑化を図っている。



・50周年記念事業（ブランコ1基、ロッキング遊具2基）西川町へ贈呈

## 新庄ニューセンチュリーライオンズクラブ 20周年記念式典 幹事 L. 佐藤正弓

令和4年11月11日、アクユマリエ玉姫にて新庄ニューセンチュリーライオンズクラブの20周年記念式典を開催しました。山尾順紀新庄市長、加藤鮎子衆議院議員、舟山康江参議院議員等多くのご来賓の皆様、地区ガバナ吾妻正章Lをはじめとするキャビネット役員の皆様、そして友好クラブの皆様のご臨席を賜り、盛大に開催することができました。第1部の式典では、来賓の方々よりご祝辞を頂戴し、また当クラブ20周年記念事業として児童養護施設双葉荘へ「デジタル教材購入費用」の目録を贈呈させていただきました。

続く第2部では、新庄飛田団子若連の皆様による「新庄団子」が披露され、祝宴がスタートしました。祝宴では、2003年2月22日結成以来から行っている児童養護施設双葉荘での新年餅つき大会、東北タグラグビ大会、新庄雪まつりボランティア雪像及び献血事業等の当クラブの奉仕活動を映像で紹介させていただきました。またビンゴ大会では皆様からご協力をいただき、楽しいひと時を過ごすことができました。

コロナ禍のため20周年式典及び祝宴を無事に開催できるか不安な部分もありましたが、皆様のご協力得て感染予防対策をしっかりと行い、無事に開催できましたことを、新庄ニューセンチュリーライオンズクラブメンバー一同心より感謝申し上げます。



## 【奉仕の心を集めて進む・最上川クリーンアッププロジェクト】



地区SCP・FWTコーディネーター L. 謙訪 洋子

令和4年10月8日(土)「世界ライオンズ奉仕デー」に合わせて、吾妻ガバナーのご支援のもと、FWT・SCPとGSTが合同で企画した「奉仕の心を集めて進む・最上川クリーンアッププロジェクト」を実施しました。この事業の大きな目的は、3年間に及ぶコロナ禍で思うように活動できなかったアクティビティの再スタート、人と人の接触制限を乗り越えまた一つになって活動を再スタートする象徴として実施したい、というものでした。

また、今期ガバナー・アクティビティスローガン「奉仕の輪を広げ、大きな奉仕を」の意を体し、ノンライオンや諸団体へ参加の呼びかけ、合わせてこの機会を活かし河川ゴミへの理解を一層深めて頂きたいと「河川ゴミ統計調査」協力を盛込み、人と意識の奉仕の広がりも目指しました。

「世界ライオンズ奉仕デー」に、地区のクラブが一斉に、同じアクティビティを実施し再スタートする趣旨には、37クラブ約400名よりエントリー頂き、最寄りの最上川とその支流の清掃活動を実施。当日は6~7時の早朝スタートや、天候が不安定な中で最大限のご協力を頂き、誠に有難うございました。

さて、吾妻連峰から一滴一滴水粒を集め、支流を集めて県内を一貫、やがて世界に繋がる海へと注ぐのは最上川。一方、県内に点在する各クラブが奉仕の心を集め、地区を一貫、世界に繋がる奉仕団体として活動する332-E地区の姿はまさに最上川の大河の流れそのもの、重なり合って見えた瞬間でした。事業への感動とご協力への感謝でいっぱいです。



## 332-E 地区チャリティーゴルフ大会を終えて



332-E 地区チャリティゴルフ大会

実行委員長 L. 斎藤 和博

2022. 10. 18 に開催されました332-E地区チャリティゴルフ大会に多くのご参加をいただき、感謝申し上げます。吾妻ガバナー肝いりのLCIFを目的にしたチャリティゴルフでした。当日の参加者105名の方で、クラブ員同士親睦を図りながら楽しいプレーだったと思います。私も久しぶりのゴルフを満喫いたしました。

皆様より参加費としていただきました中から参加賞代を差し引き残りの金額190,200円(\$1,316)を10月19日に地区献金として送金させていただきました。皆様の善意改めまして感謝申し上げます。

また、表彰につきましては当日発表せず 1位~3位の方を年次大会の席上にてご披露させていただくということで進めさせていただいております。1位~3位の方には事前にお知らせいたしますので、是非とも年次大会にご参加ください。今回のチャリティゴルフ大会はあくまでLCIFが目的だったので飛び賞等はありませんでしたが、一定程度目的が果たせたのではないかと思います。最後に企画運営に携わった皆様に、心より御礼申し上げます。



# 飯豊町豪雨被害と LCIF地域復興援助交付金の活用

飯豊ライオンズクラブ 会長 L. 那須 喜美子

飯豊町において、2022年8月3日の日降水量は高峰観測所で292mmを観測し、統計を開始した1976年以来、観測史上最大降雨量を記録しました。

また、同日18時15分には山形県初の「緊急安全確保」が発令され1日中降り注いだ大雨により椿地区や添川地区、黒沢地区では内水氾濫が発生し、住宅浸水など甚大な被害が発生しました。

農地においても萩生川、小白川の増水により農地への土砂流木の流入が相次ぎ、経済的被害も甚大でした。

8月に開催された第1回ガバナー諮問委員会において「LCIF地域復興支援交付金」の情報を頂き、町役場の災害対策本部から被害状況を聞き取り、早速交付金の申請手続きを開始しました。

交付金の活用については、災害廃棄物の仮置き場が冬期間「いいでん平スノーパーク」の会場で、観光客が多く訪れます。災害廃棄物を仮置き場からの搬出処理を進めることにより、町の観光事業はもとより、被災者や住民が災害から復旧復興し、日常生活を取り戻すために活用しました。11月25日に後藤飯豊町長に事業の内容を報告し終了しました。

お陰様で、今冬も「いいでん平スノーパーク」として大勢の来場者をお迎えしています。

この度の事業にあたり、吾妻地区ガバナー、キャビネット役員、事務局の皆様に多大なるご指導頂きましたこと心よりお礼申し上げます。



ライオンズクラブ国際協会 332-E 地区  
2022～2023 年度

## 第69回 地区年次大会

◇大会テーマ 「L字を胸に、そして未来に」 ◇

開催日：2023年4月30日(日)

会 場：大石田町市民交流センター「虹のプラザ」（代議員会・分科会）  
大石田町立大石田中学校体育館（大会式典・ガバナー懇親会）

# アクティビティ報告

未来ある子どもたちのために

酒田みなとライオンズクラブ

酒田みなとLCの青少年育成推進の1事業として、2012年度から酒田海洋少年団への助成を継続して来ました。

海や川での訓練、合宿、大会参加など、各家庭の負担となっていた経費部分や、全国大会に出場する際の旅費もしくは修理を必要とする道具の修繕費等に当クラブからの助成金を役立ててもらっています。

子供たち、指導者ご父兄との交流を目的とし行っている酒田港緑地公園の清掃は、環境の変わった場所での清掃活動を「お掃除だけど楽しい」と嬉々として取り組んでくれる子供たちの姿に充実した時間を過ごす事が出来ています。

海洋少年団の活動内容も多様化している昨今、大会に役立てて頂きたいと考え、当クラブ結成45周年の記念事業としてカヌーを2艘贈呈させて頂きました。

後援以降、出場した全国大会に於いて素晴らしい成績を納めているという嬉しい報告が続き大変張り合いを感じながら、子供たちにエールを送っているところです。

作業終了後はメンバー手作りの美味しいおにぎりを頂くと今年も新しい年度が始まる感じがして気が引き締まります。



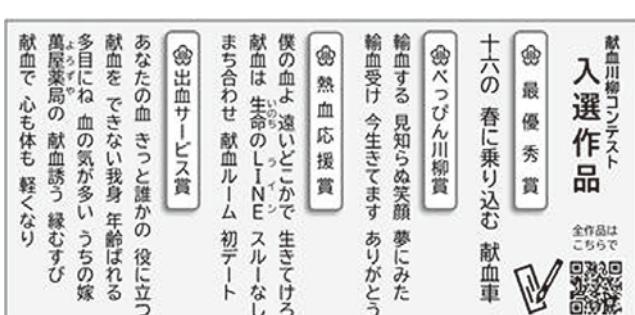
企業献血10周年を迎えて

山形ライオンズクラブ L. 中村妙子

萬屋薬局は、平成25年から企業献血に取り組んでおり、本年で10周年を迎えました。また、個人としても、献血活動で332-E地区の2020年次大会アワード功労賞をいただき、皆様のお力添えに心から感謝申し上げます。

今年は、延べ136名の献血協力と6名の骨髄バンクドナー登録をいただき、待ち時間には、店内で「骨密度測定」や管理栄養士による「栄養相談」も実施しました。皆さまには、当社から「亀松閣」の特注おにぎり「やくせん結び」を差し上げ、山形ライオンズクラブからも燕三条の素敵なスプーン2本セットをご提供いただきました。

また、企業献血10周年を記念し、献血をより身近に感じていただけるよう、県と山形市、山形ライオンズクラブのご後援をいただいて、「献血」を題材とした川柳コンテストを9月中に開催し、143名から計259句もの多数のご応募をいただきました。今後も献血サポーターとして、積極的に献血活動に取り組んでまいります。



**マンスリーレポートクラブ別一覧表 (2022年12月)**

R	Z	クラブ名	会員移動状況					家族会員		金銭アクティビティ		労力アクティビティ		献血		LCIF		出席率 (%)		
			年初	月初	目標	入会	退会	現在	世帯数	子会員数	件数	金額	件数	人數	受付者数	献血者数	金額			
1	1	山形	41	45	10	0	0	45	0	0	5	48,289	3	10	101	99	0	0	88.8	
		山形蔵王	30	30	3	0	0	30	0	0	2	158,890	0	0	0	0	0	138,890	83.3	
		上山	39	39	3	0	0	39	14	14	3	229,984	1	3	0	0	0	0	83.3	
		山形中央	38	39	3	0	0	39	3	3	2	58,000	0	0	50	50	0	0	82.0	
		上山あららぎ	36	37	2	0	0	37	2	2	2	15,397	2	2	0	0	0	0	74.3	
	2	小計	184	190	21	0	0	190	19	19	14	510,560	6	15	151	149	0	0	138,890	
		山形霞城	77	79	3	0	2	77	9	13	0	0	0	0	0	0	0	0	64.8	
		山形千歳	23	24	1	0	0	24	0	0	3	242,180	2	10	15	14	0	0	72.9	
		山形紅花	27	25	2	0	0	25	0	0	2	155,000	1	2	0	0	0	0	92.0	
		山形羽陽	21	22	5	0	2	20	0	0	2	19,443	1	9	65	62	0	0	77.2	
		山形アルカディア	22	24	1	0	0	24	6	6	1	10,000	0	0	0	0	0	0	79.1	
		小計	170	174	12	0	4	170	15	19	8	426,623	4	21	80	76	0	0	0	
		合計	354	364	33	0	4	360	34	38	22	937,183	10	36	231	225	0	0	138,890	
2	1	米沢	43	40	1	0	1	39	11	20	1	6,370	2	3	43	40	0	0	56.4	
		米沢中央	24	25	4	0	0	25	0	0	1	29,796	2	4	43	41	0	0	44.0	
		米沢松岬	13	15	2	0	0	15	1	1	1	4,056	2	3	43	40	0	0	46.6	
		米沢松川	30	32	2	0	0	32	6	9	1	4,484	4	6	43	40	0	0	60.9	
		小計	110	112	9	0	1	111	18	30	4	44,706	10	16	172	161	0	0	0	
	2	南陽	31	34	3	0	0	34	0	0	2	86,204	1	9	77	75	0	0	61.7	
		川西山形	21	22	2	0	0	22	6	6	1	20,000	0	0	0	0	0	0	88.6	
		高畠	56	57	3	0	2	55	8	9	1	20,581	0	0	0	0	0	0	57.8	
		長井	43	43	2	0	0	43	8	8	2	131,937	1	14	0	0	0	0	138,890	
		飯豊	23	23	2	2	0	25	0	0	1	3,000	1	2	0	0	0	0	60.0	
		白鷹	18	16	2	0	0	16	0	0	1	5,000	0	0	0	0	0	0	71.4	
		小計	192	195	14	2	2	195	22	23	8	266,722	3	25	77	75	0	0	138,890	
		合計	302	307	23	2	3	306	40	53	12	311,428	13	41	249	236	0	0	138,890	
3	1	河北	32	33	1	0	0	33	8	9	2	20,827	1	3	22	18	0	0	138,890	
		寒河江	36	36	1	0	1	35	11	12	2	52,497	2	4	0	0	0	0	87.5	
		西川	28	29	2	0	0	29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	58.6		
		寒河江臥龍	52	57	5	0	0	57	13	13	0	0	1	24	0	0	0	0	46.4	
		小計	148	155	9	0	1	154	33	35	4	73,324	4	31	22	18	0	0	138,890	
	2	天童	26	26	1	0	0	26	0	0	3	42,981	0	0	0	0	0	0	88.4	
		天童王将	45	46	2	0	0	46	5	5	1	8,000	0	0	0	0	0	0	100.0	
		天童舞鶴	35	35	3	0	0	35	7	7	3	36,520	0	0	0	0	0	0	97.1	
		天童中央	52	52	2	0	0	52	0	0	3	363,738	1	8	0	0	0	0	88.4	
		天童もみじ	10	10	2	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90.0	
		小計	168	169	10	0	0	169	12	12	10	451,239	1	8	0	0	0	0	0	
		合計	316	324	19	0	1	323	45	47	14	524,563	5	39	22	18	0	0	138,890	
4	1	村山	13	13	0	0	0	13	4	4	1	3,200	0	0	0	0	0	0	76.9	
		東根	9	9	0	0	0	9	0	0	3	76,622	4	12	69	60	0	0	100.0	
		尾花沢	44	43	1	0	0	43	9	10	2	60,569	1	1	0	0	0	0	59.0	
		大石田	35	35	5	0	0	35	3	5	3	137,500	0	0	0	0	0	0	80.0	
		東根さくらんぼ	45	47	7	0	0	47	9	9	1	3,800	0	0	0	0	0	0	81.5	
		小計	146	147	13	0	0	147	25	28	10	281,691	5	13	69	60	0	0	0	
	2	新庄	12	12	3	0	0	12	3	3	1	8,000	0	0	0	0	0	0	100.0	
		真室川	39	40	4	0	0	40	5	5	4	221,914	1	4	0	0	0	0	55.0	
		新庄もがみ	18	20	3	0	0	20	1	1	1	3,510	0	0	0	0	0	0	55.0	
		新庄ニューセンчуリー	33	34	5	0	0	34	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	58.8	
		新庄もみの木	16	16	1	0	0	16	0	0	2	20,000	1	15	65	64	0	0	0	84.3
		小計	118	122	16	0	0	122	12	12	8	253,424	2	19	65	64	0	0	0	
		合計	264	269	29	0	0	269	37	40	18	535,115	7	32	134	124	0	0	0	
5	1	酒田	80	81	3	0	1	80	19	24	6	146,608	5	17	62	61	0	0	63.1	
		余目	17	16	2	0	0	16	4	4	1	3,600	0	0	0	0	0	0	68.7	
		酒田みなと	34	31	2	0	1	30	10	12	3	11,800	1	2	19	18	0	0	86.8	
		酒田山王	5	6	2	0	0	6	0	0	4	24,900	2	5	19	19	0	0	91.6	
		酒田シーサイド	31	31	2	0	0	31	0	0	1	4,200	1	5	19	19	0	0	53.2	
		小計	167	165	11	0	2	163	33	40	15	191,108	9	29	119	117	0	0	0	
	2	鶴岡	44	44	2	0	0	46	6	7	4	54,673	1	3	64	63	0	0	65.5	
		鶴岡朝暘	32	33	3	0	0	33	6	6	2	20,728	0	0	0	0	0	0	77.2	
		三川	23	21	2	0	0	21	4	4	1	5,000	1	1	63	61	0	0	76.1	
		鶴岡鶴陵	39	44	3	0	0	44	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	71.5	
		藤島	50	48	5	0	0	48	6	11	1	100,000	0	0	0	0	0	0	27.0	
		鶴岡中央	51	52	1	0	0	52	0	0	3	187,880	1	20	0	0	0	0	138,890	
		鶴岡ナイスフェロー	7	7	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	62	61	0	0	71.4	
		小計	246	249	18	2	0	251	31	40	11	368,281	3	24	189	185	0	0	138,890	
		合計	413	414	29	2	2	414	64	80	26	559,389	12	53	308	302	0	0	138,890	
		地区合計	1,649	1,678	133	4	10	1,672	220	258	92	2,867,678	47	201	944	905	0	0	555,560	

2022～2023年度

## 国際平和ポスターコンテスト

～ テーマ『思いやりのあるリーダーになろう』～

### 332-E地区入賞者



地区最優秀賞（地区ガバナー賞）

おおかわら ゆあら  
大河原唯愛さん



情報テクノロジー・大会・マーケティング委員長賞

えんどう ゆ い か  
遠藤結依果さん

2022～2023 年度「思いやりのリーダーになろう」をテーマにライオンズ平和ポスターコンテストが各クラブ審査を経て作品15点について地区審査会が2022年12月2日天童ホテルにて行われました。

厳選なる審査の結果、地区最優秀賞に米沢市立第7中学校1年 大河原唯愛さん、情報テクノロジー・大会・マーケティング委員長賞に米沢市立第4中学校1年 遠藤結依果さん、地区優秀賞に米沢市立第7中学校1年 松田咲弥花さんが入賞されました。

以上3点を332複合地区選考会へ出展しました。



地区優秀賞

まつだ さ ゃ か  
松田咲弥花さん



## No. 2 洋画家 金山平三と大石田

明治16年（1883）兵庫県神戸市に生れた金山平三は、東京美術学校西洋画科に入学、42年（1909）に同校を首席で卒業している。その後パリへの留学を経て帝展や文展に出品し入賞を重ね、洋画家としての評価を高めていった。

そんな金山が初めて大石田を訪れたのは大正12年（1923）5月のことだった。その目的は美術雑誌で紹介された写生地としての大石田の風景を確認することだったが、折しも雪深い大石田の5月といえば、桃や梅、桜に辛夷と、遅い春を待ちわびた花々が雪解けと共に咲き乱れる季節である。中でも梨の花に魅了された金山は、以後毎年5月の大石田への写生旅行が習慣になっていく。この頃、金山周辺の画家仲間の間では「春の大石田、秋の奥入瀬」が符丁となっていたという。

そのような縁から、戦時中は横山村（現大石田町横山）に疎開していた金山は、当時上山市に疎開していた歌人斎藤茂吉の訪問を受けていた。歳も近い二人の巨匠は初対面から意気投合し、茂吉が大石田に転居してからも互いを行き来し合う交際が続いた。

昭和39年（1964）に亡くなるまで大石田に籍を置いたままであった金山平三は、帰京後も毎年大石田を訪れたため、制作中の金山の姿を目にしたことがあるという町内の古老の話も聞く。その晩年の絵画には、大石田近辺の風景を描いた傑作が多い。雪に覆われた家並みや花をつけた木々、あるいは爽やかな夏空を水面に映す最上川など、優れた色彩感覚と確かな技術によって描かれた作品は、現在もなお熱心なファンが多い。

（写真提供／大石田町歴史民俗資料館）



大石田近辺の風景を描いた金山平三



金山平三『雛祭り』